

税関のミライビト

Customs Future

麻薬探知犬と共に安全安心な社会を守る

私は、麻薬探知犬のハンドラーとして麻薬探知犬トリ号と一緒に国際空港や港、国際郵便局等で旅客の携帯品や輸入貨物に対する検査を行い、不正薬物の水際取締を行っています。日々の検査にあたっては、意欲的にトリ号が検査できるように、検査方法や声のかけ方を工夫し、犬のコンディションに合わせて心がけています。また、麻薬探知犬訓練センター室では、担当犬の特性にあった能力維持向上訓練について、先輩や上司の方々と相談しながら、日々

摘発に向けて取り組んでいます。そのほか、担当犬が病気にならないようにシャンプーやグルーミングなど、日々の健康管理も麻薬探知犬が適切に稼働するために欠かせない業務の一つです。



令和3年度採用一般職大卒（行政）
麻薬探知犬訓練センター室

体調はバッチリ
だワン!!!

◇ 職員の1日 ◇

- 8:30 出勤後、担当犬の散歩及び健康チェック
- 9:00 空港で入国旅客の身辺及び携帯品の検査
- 12:00 昼食
- 13:30 輸入貨物の検査
- 16:30 担当犬の給餌後、検査・訓練状況及び犬の体調等の日報を作成
- 17:00 業務終了

～税関を志望した理由～

将来は動物に関係する仕事がしたいと思っていたところ、大学の講義で麻薬探知犬の存在を知り、犬とペアで行う仕事に魅力を感じ税関に興味を持ちました。実際、税関の説明会で麻薬探知犬のデモンストレーションを見て、麻薬探知犬と一緒に覚醒剤等の不正薬物を摘発し、日本の安全安心な社会を最前線で守っている税関にやりがいと魅力を感じ志望しました。また、税関業務は不正薬物を取り締まる業務のほか、関税の徴収や貿易の円滑化など様々な業務があります。そのため、自分にあった分野で専門性を高めながら、社会に役立つことができると思いました。

Q、今の職場の雰囲気はhowですか？

A、現在の職場の先輩や上司の方々は気軽に声をかけてくださる方が多く、話しかけやすい雰囲気があります。そのため、悩みごとや困ったことがあった時もすぐに相談ができる環境です。また、先輩方と昼食を食べるなど、仕事以外の時間も楽しく過ごしています。

Q、今後の目標は何ですか？

A、トリ号と息の合った検査を行い、不正薬物を摘発し日本の安全安心な社会を守ることです。日頃からトリ号との親和関係を深めるため、犬の細かな動きをよく見て、楽しく検査及び訓練することが非常に大切だと思っています。

